



令和 7 年 6 月 2 日
海 上 保 安 庁

黒潮流域の観測結果について ～黒潮大蛇行の終息の兆しを確認～

海上保安庁は、5月31日～6月1日に測量船「平洋」「光洋」で黒潮の観測を行い、潮岬沖（北緯 32 度 30 分付近）で黒潮が東から南東方向に流れている状況を確認しました。気象庁は黒潮大蛇行が終息する兆しについて発表していますが、当庁の観測でもその状況が確認できました。

1 調査結果概要

海上保安庁では、測量船「平洋」「光洋」により、紀伊半島南方の黒潮の流路を捉えるための観測を実施しました。

その結果、黒潮の流軸^{※1}は、東経 136 度上では北緯 33 度 00 分に、東経 137 度上では北緯 32 度 30 分付近にあり、流速が東から南東方向に約 2.5～3.8kt（4.6～7.0km/h）であることを確認しました。

また、今回の観測では、北緯 32 度以南に、黒潮の蛇行部が切り離されたものと考えられる冷水渦^{※2}の一部を捉えることもできました。

2 黒潮大蛇行について

黒潮は、平成 29 年（2017 年）8 月より本州沿岸部から離れ大蛇行の状態となりましたが、今年 4 月下旬から大蛇行がみられなくなり、気象庁は、5 月 9 日に黒潮大蛇行が終息する兆しがあることを発表しています^{※3}。

今回の海上保安庁の観測結果においても、黒潮が大蛇行となっている状況は確認できませんでした。

海上保安庁では引き続き、関係省庁と連携しながら黒潮の観測を実施していく予定です。

* 海洋速報

海上保安庁では、当庁船舶及び一般船舶から寄せられた観測データや衛星画像等をもとに、日本周辺の海流や水温の現況を現した「海洋速報」を平日毎日公表しています。[\(https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/\)](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/)

※1 流 軸：海流の最も強いところ

※2 冷水渦：周囲と比較して水温の低い海域を中心に持ち、北半球では反時計回りの渦

※3 令和 7 年 5 月 9 日気象庁報道発表「7 年 9 か月続いた黒潮大蛇行が終息する兆し」

https://www.jma.go.jp/jma/press/2505/09a/kuroshio_path2025.pdf

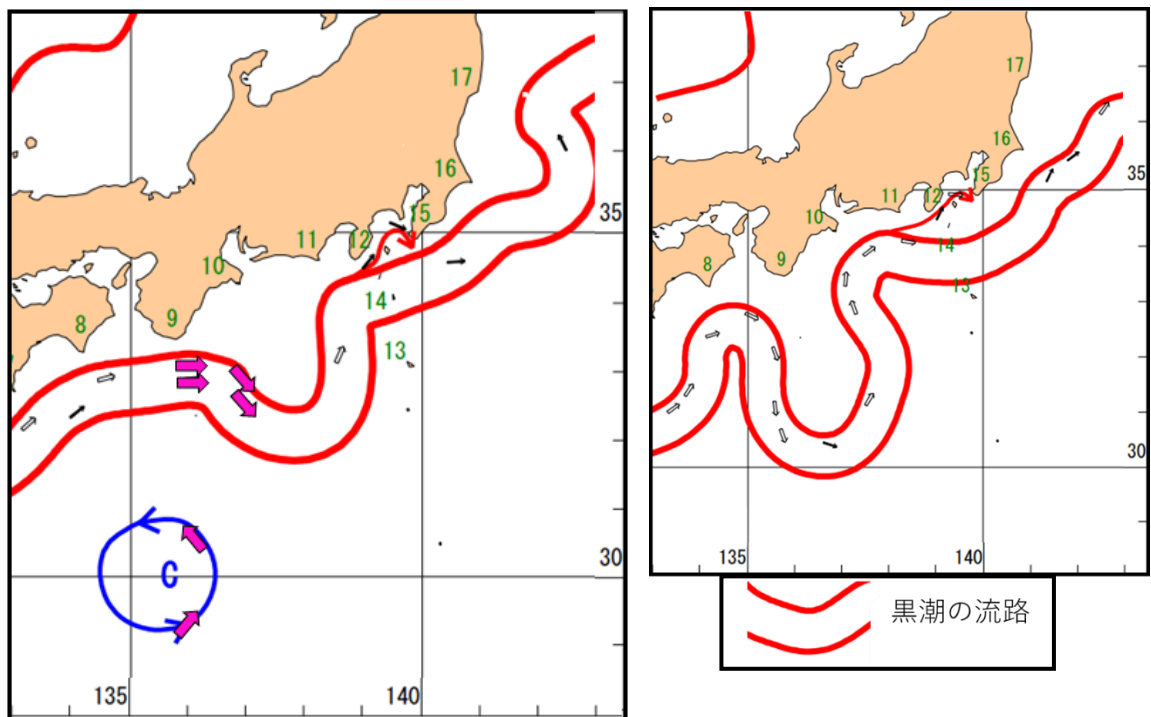


図 (左) 5月31日～6月1日の海流を示した海洋速報(抜粋)と測量船「平洋」,「光洋」が取得した観測データ(紫色矢印)
(右) 黒潮大蛇行時の海洋速報(抜粋)(2025年4月1日発行)



測量船：平洋
総トン数：4,000 トン
全長：103.0m



測量船：光洋
総トン数：4,000 トン
全長：103.0m